

【小鮎地区】令和6年度あつぎタウンミーティング実施結果

<p>日 時: 令和6年6月27日(木) 午後7時30分～午後8時30分 会 場: 小鮎公民館集会室 参加者: 地区の自治会長(27名)、公民館地区館長 市長、副市長、教育長、企画部長、企画部次長、総合計画担当課長、公民館・地区市民センター長</p>
--

自治会長からの意見	市長等からの回答
-----------	----------

意見1 上飯山自治会の老人会発足について「飯山モナミバジルクラブ」

<p>【上飯山自治会】 ■コロナ禍で3年ほど、自治会は全く活動していない状態が続く、地域のコミュニケーションが大分薄くなりました。そこで、老人会を発足してクラブ活動を始めることになりました。会の名前は「飯山モナミバジルクラブ」といいます。 今後はバーベキューやストレッチ教室、レザークラスなど、手先を動かしてもらう活動ができればと思います。飯山モナミバジルクラブができたおかげで、上飯山自治会は地域のコミュニケーションがうまく取れるようになり、自治会の運営がとても楽になりました。 今、非常に空き家が多いです。人が移り住めるようにできたら良いと思いますが、何か解決策と一緒に考えて空き家に移り住めるような、そんな体制ができれば良いと思います。厚木に住みたいという若い方の声もありますので、これを機会に空き家対策を進めていただきたいと思います。</p>	<p>■飯山モナミバジルクラブは、楽しそうなイベントばかりで、だからこそ、多くの方々が参加し、楽しいクラブになっていくことを痛感しました。 空き家については、市内では649戸、小鮎地区は54戸があります。空き家対策として、解体費用の一部を最大50万円まで補助する取組や所有者と不動産業者をマッチングする取組を実施しています。定住促進事業としても、親元・近居同居住宅取得等支援事業補助金を交付し、小鮎地区は、定住促進地域として地域加算を設定していますので、若い世代や子育て世帯の方々に定住してほしいと思っています。 子育てしやすい地域、また、高齢者にも優しい厚木として皆様の健康増進や生きがいづくりのための施策も行っていますので、幅広い世代の方が厚木に住みたい、住み続けたい、住んで良かったと言っていただけるようなまちづくりに取り組んでいきます。</p> <p style="text-align: right;">(担当課: 住宅課)</p>
--	---

意見2 厚木市立小・中学校の適正規模・適正配置の方策について(小鮎から始まる新しい教育)

<p>【宮の里中央自治会】 ■小鮎小学校と飯山小学校の統合の方針が出されましたが、今までの説明の中では、小鮎から始まる新しい厚木の教育を目指すとしています。また、小中一貫教育や小中連携教育の取組を推進するとともに、(仮称)小中一貫教育基本方針と整合性を図るとのコメントが各資料に散見されています。 今までの説明の中で提示された内容では、厚木としての特徴が分かりません。先日の飯山小の学校運営協議会では、校外体験学習を増やした全く新しい学校教育を実施してほしいとの意見も出たと聞いています。 小鮎から始まる新しい厚木の教育とはどういう教育なのかを是非教えてください。</p>	<p>■小鮎から始まる新しい厚木の教育ですが、小鮎小・中学校は、同一敷地内にある大変恵まれた条件です。現在は、フェンスで区切られていますが、そこを一つのキャンパスとして考えるならば、市内、また市外から見ても大変特色のある敷地です。また、小鮎地区は、地域が子どもたちを育てるといった環境が非常に整っている地域です。 このメリットを生かして、厚木の中で新しい夢のある学校をつくっていききたいというのがスタートです。その中で、小中一貫教育を考えていく話をしました。同じキャンパスの中に小・中学校があるという条件を考えると、これを生かさず手はないと考えています。まず、小学校が一つになることを通して、今まで以上に子どもたちの横のつながりが深くなります。かつ、同じ敷地に中学校があれば、今度は縦の関係も非常に濃厚になります。これを生かしたいというのが小中一貫教育を目指す一つの理由です。また、小鮎が小鮎の子どもたちを支えていくことも非常に明確になってくると思います。 さらに、先生方も増えます。先生が増えることによって、教育の質が上がると考えています。例えば、中学校の先生が小学校の授業を持つこともできます。逆に、小学校の先生が中学校3年生まで子どもたちの育ちを見ることができると、そのことを通して、非常に手厚い、質の高い教育ができると考えています。 また、図書館や音楽の教室を共有することや、いろいろなお仕事を小・中学校を超えて一緒にやることで先生方の余裕が生まれ、子どもと向き合う時間が多い学校ができると考えています。入学してから9年間、同じ学校で育つことを通して、小鮎地区に対する愛着を持つ子どもたちが育つのではないかと期待するところです。 先ほど体験学習を重視する飯山小学校の話がありましたが、9年間のカリキュラムを一貫した一つの方針で組むことも可能になってきますので、そういうメリットを生かした夢のある新しい学校を皆様とともにつくっていききたいと思っています。</p> <p style="text-align: right;">(担当課: 教育総務課)</p>
---	---

意見3 厚木市立小・中学校の適正規模・適正配置の方策について(小鮎小・中学校合同校舎の建設について)

<p>【宮の里中央自治会】 ■小鮎小学校は耐用年数を迎え、建て替えをすることになっています。小鮎中学校の耐用年数は、小鮎小学校と3年しか違いませんので、小・中学校を一つの校舎として建て替えてはどうかと思っています。 今後、飯山小学校とも統合され、その中では小中連携教育の取組を推進するともあります。その推進がしやすくなっていくのではということと、小鮎小学校、中学校のグラウンドはとて狭いので、再整備して一つにまとめられれば、グラウンドを広く使えることにもなります。 小・中学校合同校舎の建設について、是非お考えをお聞かせください。</p>	<p>■合同校舎の建設については、小・中学校が同じ校舎になれば、さらにそのメリットは大きいと思います。また、職員たちが一つになる、子どもが自由に行き来できるなどのメリットもありますので、貴重な御提案をいただいたと思っています。今後、あの敷地の中にどのようにレイアウトしていくべきなのかについては、また皆様とともに考え、研究してまいります。</p> <p style="text-align: right;">(担当課: 教育総務課)</p>
--	--

意見4 厚木市立小・中学校の適正規模・適正配置の方策について(飯山小学校の跡地利用について)

【宮の里中央自治会】

■厚木市立小・中学校の適正規模適正配置の方策により、飯山小学校は廃校が決まりました。しかし、飯山小学校は飯山地域の避難所としても指定されているので、このまま避難所として環境を整えることを希望します。

その上で、荻野運動公園のサブ施設として再整備をして、目玉事業にあるスポーツ合宿誘致事業として活用することを考えてはいかかと思っています。サブグラウンドにするのであれば、荻野運動公園と飯山小学校との動線や、そばにあるゴルフ場の外周を整備して、マラソンや自転車などのコースを作成し、スポーツの重点地域とすることも可能なのではないかと考えています。何らか活用を検討していただきたいです。

■飯山小学校は、小鮎地区の皆様方の災害時の一番身近な避難場所として避難していただけることが大事ですので、引き続き、避難場所として利用していただくことを考えています。

飯山小学校校舎もまだまだ新しい学校ですので、今後どう活用していくか、今、スポーツ合宿誘致等々のお話もいただきましたので、一つの御意見としてしっかり受け止め、今後も皆様方の声をいただきながら、合宿も含めて検討してまいります。

(担当課:教育総務課)